

平成27年度 介護労働講習

(実務者研修を含む)

講習期間

平成27年6月2日～平成27年11月13日



★ 講習会場のあった静岡市清水区からの富士山

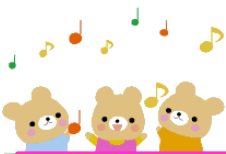
～ 私達は介護のプロを応援します ～

公益財団法人 介護労働安定センター静岡支部

※掲載している写真、氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。



修了おめでとうございます！



～ 修了者へ贈る言葉 ～



受講者40名全員がそろって修了式を迎えることができ、心からお喜び申し上げます。

様々な実社会の経験を積まれてこられた皆様方が介護の道を志し、座学に実習にと多くのことを学ぶとともに、その介護の精神を心に刻まれたことと思います。

また、同じ道を目指しながらも、世代も違い考え方も違う仲間が一堂に会し、その都度、一喜一憂し励ましあい何事にも代えがたい経験もされました。

これから皆さんは各々新たな職場に就かれることと思いますが、初心を忘れずに日々業務に励んでいただきたく祈念申し上げます。

静岡支部長



講習の実施風景

座学・演習・生活支援技術など ①

◎ 座学



◎ 生活支援(お裁縫)



◎ 生活支援(あづま袋完成披露!!)



◎ グループワーク



講習の実施風景

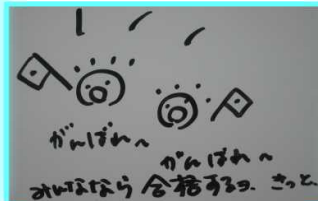


座学・演習・生活支援技術など ②

◎ 医療的ケア演習



↓ 講師からのエール



◎ 生活支援技術演習



◎ 介護過程Ⅲ(介護事例演習)



講習の実施風景

座学・演習・生活支援技術など ③



◎ 機械浴体験



◎ 就職支援(修了者の就職講話)



◎ 就職支援(模擬面接)



◎ 修了評価試験



卒業
おめでとう!

◎ 修了証書授与



◎ 修了式前のひととき



介護労働講習(実務者研修を含む)を終えて・・・



今年は40名の受講者が講習を修了し、
それぞれの道へ進んでいきました……
そんな修了者の感想をまとめましたので、ご紹介いたします。



全く経験のない勉強でしたが、先生方の情熱溢れるご指導で、大変楽しく有意義に学ぶことができました。とても充実した6ヶ月でした。

半年間、続くのかどうか心配でしたが、無事に修了することができました。先生方や友人のサポートがあったから乗り越えられたと思っています。

6ヶ月、自分自身を振り返る貴重な時間をいただきました。他人の深い部分に立ち入ることになる私たちが、十分に自分自身をケアしていないとできない仕事だと学びました。

大変すばらしい先生方の講義を受講することができて、自分の一生の宝となりました。介護の仕事に就くには、様々な角度からの勉強が必要だとわかりました。

ボディメカニクスの知識を学ぶことで、スムーズな動きができることを知ることでよかったです。今後に役立てていきたいと思います。

介護技術の基礎は、もう少し時間をかけてじっくり学びたかったです。特におむつ交換やパットの交換など、何度も繰り返して練習できたら良かったと思います。

通信レポートは、教科書の振り返りができるし、探し出す力が必要とされ、事前に読んでいることで内容の理解を深めることができました。

施設実習で、実際の現場を知ることで、良い面、悪い面を知ることができ、今後どのようにしたら良い介護をしていけるのか、参考になりました。

丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。これから大変なことが色々あると思いますが、今回のことを思い出して頑張ります。

6ヶ月間、ありがとうございました。今まで触れて来なかった分野の知識を身につけることができました。様々な年代、性別、さまざまな考え方の人たちに出会えて楽しく勉強できました。この先、相談等あるかと思いますが、今後ともよろしくお願いします。



就職先をたずねて

事業者さまの声

(福)岳南厚生会 特別養護老人ホーム 高原荘



施設長 斎藤 文彦 氏



Q：採用した決め手などは？

A：基礎をしっかり学んできたことにより、土台が出来上がっていると思いました。
介護労働安定センターの講師陣はレベルが高いですね。

Q：普段の仕事ぶりはどうですか？

A：真面目に取り組んでくれていますよ。

Q：介護労働講習の内容などについてのご感想は？

A：幅広く長期にわたっての講習は即戦力に繋がりますね。



Q：これから受講される方へのメッセージをどうぞ

A：介護を、「やりがいのある仕事」に結びつけるためには、気づきを大切にしてほしいと思います。
常に「学びの場」として、人生の先輩たる利用者の方々に対し、尊敬の念を忘れないでいただきたいです。



就職者の声

古水志郎 さん（平成25年度 実務者研修修了者）

Q：介護労働講習で学んだことは？

A：私は、実務者研修一期生として、とても楽しく多くのことを学びました。今、仕事に生かされているのが、おむつ交換とボディメカニクスです。この技術は、利用者様の移動介助をする際、最小限の力で最大限の効果を発揮するため、自分の身体に無理なく介助ができて、とてもスムーズに仕事をこなすことができます。

Q：実際に介護のお仕事に就かれた感想は？

A：この仕事は利用者様の介助ですが、利用者様のできる事を見つけてそれを伸ばす自立支援こそ大切だと思っています。介助をしていて、利用者様からの「ありがとう」の一言がこの仕事の励みとなり、やり甲斐にもなります。そして今の目標は、介護福祉士の資格を取得することです！！

Q：これから受講される方へのメッセージをどうぞ

A：超高齢社会の中、介護職は不足している状況です。人間いずれは年を取り、いつかは自分も介助される側になるかもしれません。「介護」という仕事は決して楽な仕事ではありませんが、人が人を支え合う、というこの世の中で一番人間味のある仕事だと思っています。ぜひ、一人でも多くの方が、この介護の仕事に携わってくれることを願っています。



数馬英雄 さん（平成20年度 介護職員基礎研修修了者） 介護福祉士

★ 数馬さんは7年前、高原荘に就職し、介護福祉士の国家資格も取得されました。現在はショートステイのフロアリーダーとしてご活躍されています。

Q：介護労働講習で学んだことは？

A：講習で学んだ知識や技術は今の私の原点となり、様々な場面で生かされています。何より楽しく学び、仲間もできた介護労働講習から7年ほどの月日が経ちましたが、今でも懐かしく思い出されます。講師の先生方にも感謝しつつ、今も介護の仕事を続けています。

Q：実際に介護のお仕事に就かれた感想は？

A：どんな仕事でもそうだと思いますが、介護の仕事も楽しんでやるのが大事だと思います。（いろいろありますが…）

Q：これから受講される方へのメッセージをどうぞ

A：「人生の先輩たち」と関わり合いながら、人と人とのつながりを大切に、介護の仕事を楽しんでいただければ幸いです。

実務者研修の受講者を前に、先輩として貴重なアドバイスをいただきました。

